



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立橋小学校
学校だより No.37
令和5年10月13日
文責：校長 酒井 健

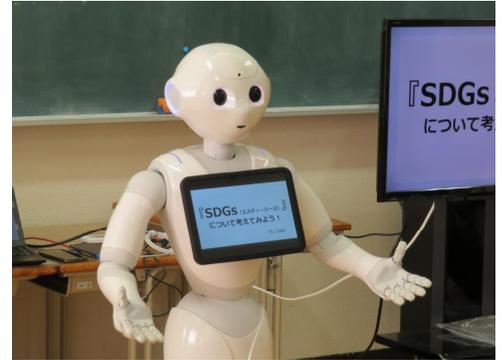
◇橋小学校に、かわいい転入生が・・・！

郡山市教育委員会から、1人の転校生がやってきました。名前は、ペッパーくんです。昇降口において、子どもたちに挨拶をしたり、お話をしたりしています。子どもたちからは大人気！本当に友だちのように会話をしている様子を見ると、微笑ましく感じます。

ペッパーくんは、2014年に誕生した、身長121cmの大型ロボットです。音声や胸のタブレットを通してやりとりができます。また、顔認識・感情認識などの多彩な機能を搭載しています。

今、学校では、授業の中でもペッパーくんが大活躍しています。この日は、『SDGsについて考えてみよう』というテーマで、5年生の子どもたちがペッパーくんと一緒に学んでいました。

残念ながら、ペッパーくんは10月20日(金)に他の学校へ転校してしまいます。限られた時間ですが、全校生が楽しく触れ合っていたと思います。



◇1～3年生が校外学習に行ってきました。

10月6日(金)、1年生から3年生までの各学年で、校外学習に出かけてきました。

【1年生】ムシテックワールド（須賀川市）
【3年生】園芸センター・宝来屋（郡山市）

【2年生】石筴ふれあい牧場（郡山市熱海町）

校外に出かけ、初めて見るもの、知ること、体験すること・・・など、貴重な学びがたくさんありました。どの学年の子どもたちにとっても、心に残るすばらしい思い出となりました。



【1年生】ムシテックワールドにて



【2年生】石筴ふれあい牧場にて



【3年生】園芸センター・宝来屋にて



【体験活動の教育的意義】（文部科学省より）
体験活動とは、文字どおり、自分の身体を通して実地に経験する活動のことであり、子どもたちがいわば身体全体で対象に働きかけ、かかわっていく活動のことである。「直接体験」「間接体験」「疑似体験」がある。
→まさに、「直接体験」をたくさんした子どもたちですね！！



校長のひとりごと

最近、保護者の皆様から、「学校だより、見てますよ」「校長のひとりごと・・・楽しみにしています」というお言葉をいただくことがあります。これは、とてもうれしいことでもあります。学校の様子、子どもたちの様子、何気ないひとりごと・・・これからも身を引き締めて、お伝えしていきたいなと感じております。

今日は、「ありがとう」という言葉について感じたことを・・・！

「ありがとう」「ありがとうございました」という感謝の言葉、最近、使っていますか？ 例えば、今週の1週間、私はたくさんの「ありがとうございました」を口にしました。たくさんの方々へ感謝の気持ちでいっぱいになった1週間でした。この「ありがとう」という言葉は不思議な言葉ですね。相手に何かしていただいたことに対する感謝の言葉なのですが、「ありがとう」と言っている自分も幸せな気持ちになります。心の中がほんのりと温かくなります。「ありがとう」という言葉が

学校の中で、たくさん聞くことができる・・・響いている・・・

そんな学校が私の目標の一つです。すてきな言葉ですね。

